

そらこめ通信

No.63 2015年10月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

シルバーウィーク真っ只中の9月22日(火)午後、待望の稲刈りが始まりました。6月の低温で心配された作柄も、7月以降の好天により、収穫量については何とか平年並みを確保できたようで、まずは一安心といったところです。今年は圃場全体で稲の生育にバラつきがあり、どのタイミングで稲刈りを始めたらよいか悩んだ生産者が多かったと聞きました。刈入れを早く始め過ぎると青米が多く発生して収穫量が減少する、反対に、生育が遅れた稲に合わせて刈入れを遅らせると、進みすぎたモミの品質が落ちる等々。このあたりの勘どころも、優れた生産者になるためには大事な要件なのかも知れません。

さて、話は変わりますが、9月10日の昼過ぎ、茨城県常総市を流れる鬼怒川の堤防が決壊して、茨城、栃木、宮城の3県合わせて8名の方(9月18日現在)が亡くなりました。また、常総市を中心に40平方kmが浸水、数千haの農地に被害が出ました。ちょうど収穫期を迎えていた稲作農家にとっては、収穫直前の圃場が泥水に浸かったり、収穫が終わり保管していた籾が水に浸かってしまうなど、同業者としてあまりに気の毒で、かける言葉もありません。亡くなられた方並びにご遺族に対して心よりご冥福をお祈りすると共に、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。一方、勇気付けられるニュースもありました。堤防決壊の翌日、泥水が残る中、地元の建設会社社員が自らの意思で機械を操り、道路の啓開作業などに駆け付けたという話。また、大手建設会社数社が、自らの危険を省みずブロックを積むなどして堤防の緊急復旧工事にあたった話など。やりますね。彼らのような人たちがいてくれる事が、地域にとってどれ程心強いかが計り知れません。



今年は生育が少し不調だったダリアたち～黒蝶「コクチョウ」(写真左)かまくら(写真中)熱唱(写真右) (9月9日撮影)



9月22日午後から待望の稲刈りが始まりました。写真は9月25日の稲刈りのようす。コンバインを操作するのは拓哉さんです。



稲刈りを前に乾燥機周りの準備(9月9日)



籾の収穫を待つ倉庫(写真中)と出番を待つフォークリフト(写真右)(9月9日撮影)



生育が進む「ゆめびりか」の圃場～土の乾燥も進み、後は刈入れを待つのみ(9月9日)



圃場で羽を休める赤トンボ(9月9日)



社長が社名入りのヘルメットを被って登場。よく見ると正面にはおにぎりのシール(笑)



収穫した籾を乾燥機に移す作業(9月25日)



籾は乾燥機に直結するピットに投入 4台ある乾燥機はフル稼働の状態です 食味を測るため圃場ごとにサンプルを採取
自分たちが生産しているコメについて、食味数値を測るために圃場1枚ごとにひとつずつサンプルを作ったうえで、検査機関で数値を出して頂いています。面白いもので、品種によって圃場との相性のようなものがあるみたいです。今年の新米ですが、今のところ10月下旬からの発売を予定しております。決まりましたらホームページ上にてお知らせいたします。あと少しですがご了承のほどお願いいたします。

今後も、安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いたします。

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
ブログ「生産日誌」更新中です

インターネットで美味しいお米!